津野町新本庁舎建設基本設計業務（概要版）

R4.9月

東畑・艸建築設計企業体

□目　次

A ― 01	計画概要
A ― 02	設計条件の整理
A ― 03	基本方針1
A ― 04	基本方針2
A ― 05	基本方針3
A ― 06	透視図1
A ― 07	透視図2
A ― 08	配置図
A ― 09	1階平面図
A ― 10	2階平面図
A ― 11	3階平面図
A ― 12	立面図1
A ― 13	立面図2

□設計概要

◇業務名称	津野町新本庁舎建設基本設計業務
◇建物用途	事務所（庁舎）
◇階別用途	1～3階：庁舎
◇発注者	津野町
◇建設地	高知県高岡郡津野町永野
◇工期	令和5年9月～令和6年12月（予定）
◇工事種別	新築
◇工事種目	建築主体工事
	電気設備工事
	機械設備工事
	外構工事（囲障、植栽、雨水排水、屋外照明、舗装、サイン工事）
	昇降機設備工事
	解体工事（アスファルト舗装、構造物等）
◇別途工事	可動家具（固定家具は本工事）、什器備品類、保安設備工事
	その他基本設計図書に記載なき事項
◇地域・地区	都市計画区域外
◇構造・規模	混構造（RC造＋鉄骨造+木造）3階建て
◇耐震安全性の目標	構造体：Ⅰ類、非構造部材：A類、建築設備：甲類
◇耐火性能	準耐火構造（ロ準耐-1）
◇敷地面積	8,699.53㎡
◇延床面積	本体：2,987.85㎡ 、車庫棟：42.00㎡ 、駐輪場：19.80㎡
◇容積率	35.05％
◇建築面積	1,704.65㎡
◇建蔽率	19.59％
◇駐車台数	公用車用30台、職員用41台、来庁者用11台
◇駐輪台数	自転車12台
◇その他関係法令	建築基準法
	消防法（防火対象物：15項）
	高知県ひとにやさしいまちづくり条例
	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
◇その他	ZEBランク：ZEB Ready

□　計画の目的

○津野町役場の現状と課題

津野町現本庁舎は、昭和 59 年 2 月に完成し、築後 37 年が経過しています。現本庁舎では、建物の老朽化が進んでいるとともに、バリアフリー対策の不足や庁舎の狭あい化、慢性的な駐車場の不足など様々な問題を抱えており、住民に良好な行政サービスを提供し続けるのが困難な状況にあります。また、防災拠点施設として南海トラフ地震等の大規模地震に対応できる耐震性を備えていないことに加え、令和2年6月には現本庁舎敷地が土砂災害特別警戒区域に指定されたことから、大規模災害時における防災拠点施設として十分な役割を果たすことが困難であると想定されます。
これらの課題を解決し、災害時における防災拠点機能の維持と、住民サービスの向上を図るとともに、行政事務の効率化などを図るため、新本庁舎の整備に取り組みます。
新本庁舎整備にあたっては、多様化する住民ニーズや高度化する情報化に柔軟かつ的確に対応できる機能、さらには防災拠点としての役割を十分に果たせる機能を備えた庁舎とします。

○津野町新庁舎の課題へのアプローチ

課題1　「事業スケジュールを踏まえた合理的な整備手法について」

1-01　庁舎配置のポイント
…周辺環境との調和を図った合理的な配置計画を提案。

1-02　設計から施工、完成までの作業工程
…設計から完成までのあらゆる工程で作業の効率化を促進し、令和6年迄の完成を実現。

1-03　スムーズな建設工事の実現
…町民の利用に配慮した施工計画。安全に配慮した仮囲い及びゲートの配置計画

1-04　愛着がうまれる工夫
…何時の時代にも愛着を持ち続けるみんなの建物としての工夫

課題2　「安心安全で町民が利用しやすく、機能的・効率的な庁舎について」

2-01　災害時に防災拠点施設としての機能を確実に発揮するための設計
…地震、火災、水害等に強く、ライフラインが遮断されても一定期間維持できる機能を保持。

2-02　ユニバーサルデザインや町民が利用しやすい窓口機能等の設計
…ユニバーサルキャノピー設置のほか、乳幼児連れ、高齢者などダイバーシティに配慮した庁舎。

2-03　町民が身近に感じ、気軽に立ち寄れる環境についての設計
…町民の憩いの場となる「ほしふるホール」の設置。津野町を連想させるサイン・ 色彩計画の採用。

2-04　機能的かつ効率的な執務室、会議室、保管スペース等の設置
…フレキシブルな執務室・会議室や小屋裏を利用した保管スペースなどの設置。

2-05　デジタル化推進についての設計
…議会中継モニターやデジタルサイネージの導入などが可能な整備。

課題3　「経済性に優れ、環境に配慮した庁舎について」

3-01　ライフサイクルコストの抑制による経済性に優れた設計
…空調「OAフロア+床輻射」一体型の採用など更新・維持管理コストの低減を行う。

3-02　コストパフォーマンスを高めた高知県産木材を活用した設計
…RC造(一部鉄骨柱)+屋根木造(CLT)とし、木質系内装材と家具などは高知県産木材の利用。

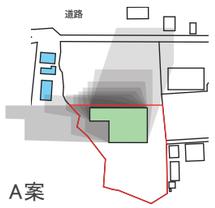
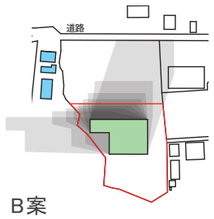
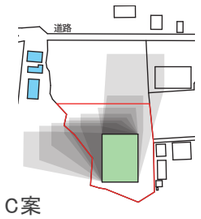
3-03　省エネ、創エネなどによる環境性能についての設計
…太陽光発電等で創り出したエネルギーと積極的な自然エネルギーの活用を行い、環境に配慮した設計。

□　敷地条件に相応しい配置計画

○敷地条件を踏まえた最適な配置計画の検討

津野町新庁舎を設計するにあたり、建物配置について3パターンを検討しました。
近隣への日影の影響、駐車台数、駐車区画の明確化、アプローチのしやすさを比較し、総合的に評価した結果、敷地中央部に建物を配置する「B案」が最も適切であると判断し採用します。(下表)

採用

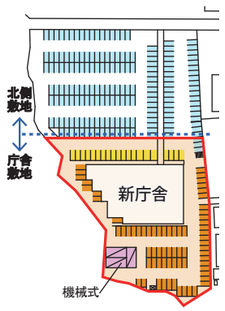
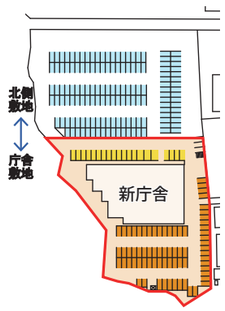
	北側に寄せて配置	敷地の中央部に配置	南側に寄せて配置
配置パターン	 A案	 B案	 C案
近隣への日影	× AM10 時頃まで日影	○ 日影の影響は無い	○ 日影の影響は無い
駐車台数	△ 120 台確保可能	○ **130 台**確保可能	△ 110 台確保可能
駐車区域の明確化	× 来客車と公用車が混在	○ 明確な区分が可能	× 来客車と公用車が混在
アプローチのし易さ	○ 比較的アクセスし易い	△ 歩車分離に工夫が必要	× 道路からアクセスし難い
総合評価	△	○	×

▲最適な配置の検討

○配置計画と適切な駐車計画の検討

B案の配置を基本とし、駐車計画について2パターンを検討しました。
案1は、平面駐車と一部を機械式駐車とすることで駐車台数を確保することが可能です。ただし機械式駐車場の建設維持費の発生や利便性が劣るなどの点があります。案2は、平面駐車のみで整備を行い、案1に比べ台数が減るものの、全て平面駐車での整備とすることで建設費が大幅に縮減可能となり、使い勝手等運用がしやすい計画となります。検討比較した結果、案2を採用します。

採用

案1	平面駐車＋機械式	案2	平面駐車のみ
	機械式駐車場を設置し、現状の約2.5倍分駐車スペースを確保します。 **メリット:** ・庁舎建設敷地内に全て、駐車台数を確保 ・北側敷地の駐車台数が多い **デメリット:** ・機械式駐車場導入の為建設費、維持管理コストが発生 ・機械式は入庫車の使い勝手が劣る		北側敷地の一部を公用車用駐車スペースとして利用することで、全て平面駐車で整備可能です。 **メリット:** ・全て平面駐車で整備すること で建設費の大幅縮減 ・使い勝手がよい **デメリット:** ・案1に比べ駐車可能台数が若干少ない (ただし、現在より多い)

▲最適な駐車計画の検討

○隣地へ配慮した施工計画の検討

既存駐車場は新本庁舎施工時にも近隣施設利用者が駐車できるように工事ヤードは最小限とします。また、工事車両動線と利用者動線を別々に確保することで動線が交錯しない安全な計画とします。

▲施工中の安全計画

□　敷地利用方針

あらゆる視点で、町民と町民、町民と行政とが協働しながら人の命や暮らし、自然を大切にする町づくり、新たな活力と交流を生みだすまちづくりの拠点を整備します。道路に面する北面にまとまった駐車スペースを設け、道路からはアクセスがしやすいようバスも容易に出入りが可能な幅の出入口を2箇所とそれぞれ十分な離隔を取り設けます。
車路は対面通行が可能な幅を確保し、見通しのよさに配慮することで安全性と利便性の高い駐車場とします。

□　平面計画

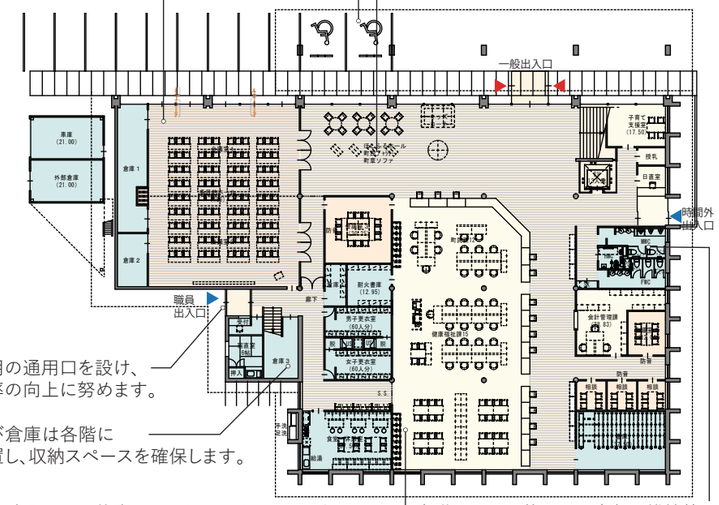
1階平面図

1階には住民の利用頻度が高い課と開放的な「ほしふるホール」を配置します。
また、住民間での交流や研修等の利用が可能な多目的ホール、子育て支援室、相談室などを設け、利用者の多様なニーズに応える諸室配置とします。
職員利用の機能としては、宿直室や更衣室、食堂兼休憩室などを整備します。

住民に開けた多目的ホールを利用のしやすい1階に配置し、待合スペースの「ほしふるギャラリー」とも連携の取りやすいものとします。

主出入口の北面にはキャノピーを設け、雨に濡れることなく来庁を可能とします。

内外を見渡せる吹抜ギャラリーを設けます。広々としたホールは待合はもちろん、来庁者への案内ができ、内外とも連携の取りやすい多様な使い方が可能なスペースとします。



職員専用の通用口を設け、運営効率の向上に努めます。

書庫及び倉庫は各階に分散配置し、収納スペースを確保します。

執務室は壁のない一体空間とすることで、見通しがよく目的場所が一目で分かる計画とします。課の再編成にも対応できるフレキシブルな空間とし、床にはフリーアクセスフロアを採用。自由な機器配置、増設に対応します。

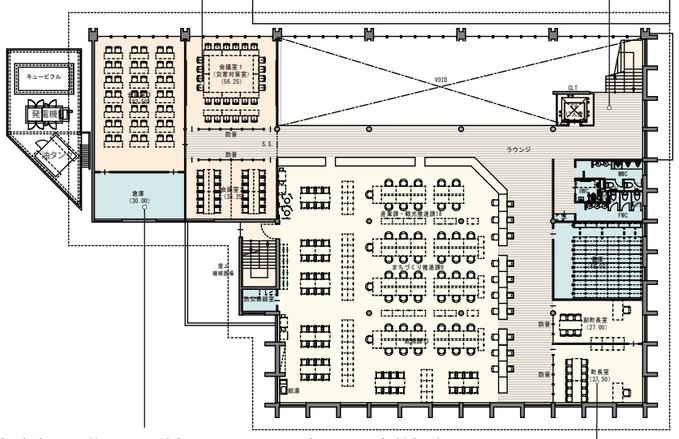
各階のWCは使い易く清潔で維持管理に配慮した仕様とするとともに、オストメイト(各階)、簡易ベッド(1、2階のみ)などを設け、充分な整備をした多目的WCとします。

2階平面図

2階には来庁者利用の課と見通しのよいラウンジを設け、町長室、副町長室を南側に配置します。会議室を西側に集約し、明快なゾーニングと利便性の高い平面計画とします。

災害時、会議室1は災害対策室として活用します。
日常利用から災害時対応へシームレスに転換することが可能です。

EV、階段から見通しのよい空間づくりと共に、わかりやすい誘導を徹底したサイン計画を行うことで、各窓口へスムーズに向かうことが出来る計画とします。



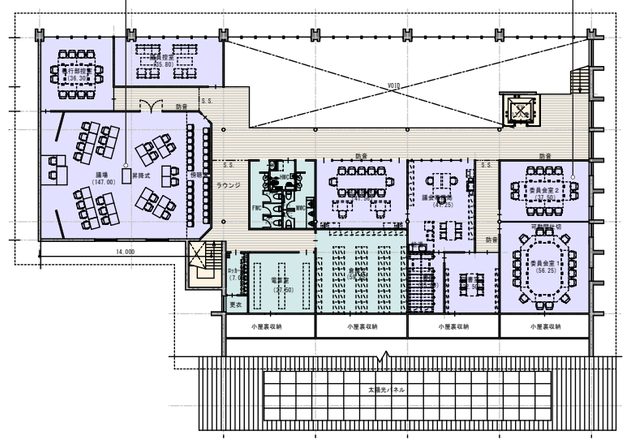
各諸室は可能な限り外気に面した配置計画とし、自然採光・自然通風を十分に確保することで空調及び照明にかかる維持管理費を低減するとともに、室内環境の快適さを向上させます。

3階平面図

3階は議場と議会関連諸室を配置するとともに、セキュリティレベルの高い電算室などを設けます。また、勾配屋根の下部を有効に活用するため、倉庫などを配置し、無駄のない平面計画とします。

議場机は一部昇降式とし、使いやすいものとします。
また、1階の待合スペースに議会中継モニターを設け、議会の情報発信が可能な設計とします。

会議室等は遮音性に配慮した可動間仕切りを設け、室の自由度を高めます。



□機能的・効率的な庁舎

○地震に強く、あらゆる災害に対応した機能維持の確保

・主要構造はコンクリート・鉄・木それぞれの長所短所を見極め、適材適所のハイブリッド構造を採用します。
・「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部」における構造体「I類」、建築非構造部材「A類」、建築設備「甲類」に相当する性能を確保します。
・直天井、ダクトレス、打放し仕上げ等とすることで、発災時に破損・脱落のない内装を徹底します。
・太陽光設備、蓄電池設置を想定し、降雨日や夜間を含め、日常的な創電の積極的利用を図ります。
さらに非常用発電機を整備し、日常と非日常の安心安全な電源を確保します。
・自然通風・採光、高断熱仕様等、自然エネルギーを活用した計画とし、インフラ断絶時や節制期間にも災害対策拠点として機能性を損なわない計画とします。
・照明や空調は消費電力の最小モード設定機能、高効率機器を採用し備蓄消費熱量を最小限にします。
また備蓄倉庫を設け、器具・食料を確保します。
・災害時に必要な備品、食料品等のストックが可能な設計とします。

○ユニバーサルデザインや住民が利用しやすい工夫

・庁舎の顔となる建物北側の駐車場には、降車後雨に濡れずにアプローチできるキャノピーを設けます。
・庁舎入口近くには、育児中の利用者に配慮した授乳室・キッズスペースを設置します。
・カウンターは一部置式棚板を足してハイカウンターにもなる設計を行います。

▲キャノピーから庁舎へ

・今後進行が予想される高齢化社会にも柔軟に対応できるよう、当初から整備が必要な内容と今後改修等に備えておくべき内容を整理の上、詳細な整備項目を整理します。
・建物が担う内容（ハード）と人が担う内容（ソフト）をうまく整備し、必要最大限の建設コストで最大の効果が発揮できるようハードとソフトの両面で整備項目を整理します。

○住民が身近に感じ、気軽に立ち寄れる環境への工夫

・庁舎に入ると開放的な吹抜け空間「ほしふるホール」が来訪者を迎え入れます。津野町の情報ギャラリーを入口近くに整備し、住民だけでなく町外から訪れた来訪者にも津野町の魅力を発信する場所づくりを行います。

○機能的かつ効率的な執務室、会議室、保管スペース等の工夫

・執務室空間は壁を無くし、課の編成が変化しても容易に対応できるフレキシブルな空間とします。
・会議室には遮音性の高い可動間仕切りを設け、会議規模に合わせた使い方が可能な設計とします。

・床面積に算入されない小屋裏スペースを保管スペースとして利用することで無駄なく、効率的な空間利用を行います。
・壁の一部はプロジェクター投影可能な多機能ホワイトボードとし充実した会議運営を可能とします

○デジタル化の推進に向けた整備

・来庁者の目に触れやすい1階待合に、議会中継モニターやデジタルサイネージなどを設置できるように環境を整えます。

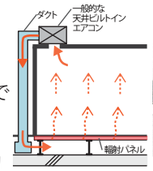
□　経済性に優れ、維持管理と環境に配慮した庁舎

○ライフサイクルコストの抑制による経済性

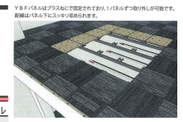
・規格品・既製品の有効利用と防汚性仕上材の選択、耐衝撃への備えと清掃・修繕の容易な仕上げ材を選択します。
・切妻大屋根、深い軒の出とコンクリートの外壁により、外装の塗替工事を不要とするとともに、日常的な清掃頻度を大幅縮減します。また、屋外木部は直接雨に濡れないよう耐久性に配慮した設計を徹底します。
・外壁をRC耐火構造とすることで、竪穴防火区画用のシャッター等を不要とします。また、天井面以外の木質化を図りながら、内装制限に準拠した防耐火設計を行うことで、スプリンクラー設置不要とします。
・防災と木質化の共存を、法と知見の両面から検討し、コストダウンを徹底します。

[空調「OAフロア＋床輻射」一体型の採用]

自由な配線取り出しのできるOAフロアと床輻射式冷暖房パネルを一枚で兼用します。輻射式空調は空気を媒体とするのでメンテナンスが一切不要です。大空間を効率よく、また、空調機の設置台数を減少でき、ランニングコストの低減も期待できます。空調風も発生しないので、ウイルスや花粉、ほこり等を拡散させません。
本来建築工事で見込むOAフロアを、空調吹出機能と一体とすることで、ZEB補助対象とすることが可能となり、大幅な建設コストダウンが期待できます（実績有り）



▲断面イメージ


▲配線イメージ

○高知県産木材の活用について

・内装制限の告示（天井準不燃）仕様を満たすことで、スプリンクラー設備を不要としながら木質空間化を行います。
1・2Fの天井はRCスラブで現し（天井不燃化）とすることで壁面の木質化を行います。
・屋根には屋根下地と梁を兼ね、断熱性能のあるCLT（県産材木材）を使用します。
・床は高知県産材を使用した、強固な圧密フローリングとし、長く使用できるものとします。
・窓口カウンターや記載台などの家具などには、県産材木材で製作し、木のあたたかみを感じる空間づくりを設計します。

○省エネ、創エネなどによる環境性能について

・立地条件を生かし、北東面に主採光面を集中させ、ZEBの決め手となる外皮性能を高めながら、外光をうまく利用しつつ開かれた庁舎を体現します。
・庁舎の創エネルギーとして太陽光発電設備を設けます。気象会社から、翌日の気象予測データをオンラインで取り込み、日射量や雲量に応じて蓄電量や放電量をコントロールし、経済性や環境性の高い運用が可能な仕様とします。
・照明はLED照明とし、系統分けや人感センサーを併用し、建物の省力化とランニングコストを低減します。
・衛生設備は全て節水型を採用します。
・換気は「機械と自然」のベストミックスを図り十分な換気量を確保し、寒気流入の少ない熱交換型換気扇（ZEB補助対象）を採用します。
・太陽光発電等で創り出したエネルギーと積極的な自然エネルギーの活用をすることで、建物のエネルギー消費量を削減します。次世代省エネ基準にもできるよう、断熱性能の向上を図ります。
・空調等はオンデマンド制御を取り入れ、LED照明では人感・明るさセンサーを取り入れることにより、さらなる省エネを行います。
・上記の創エネ、省エネ対策とCLTの利用からZEB補助事業の採択を目指します。

歩道から

北面

南面

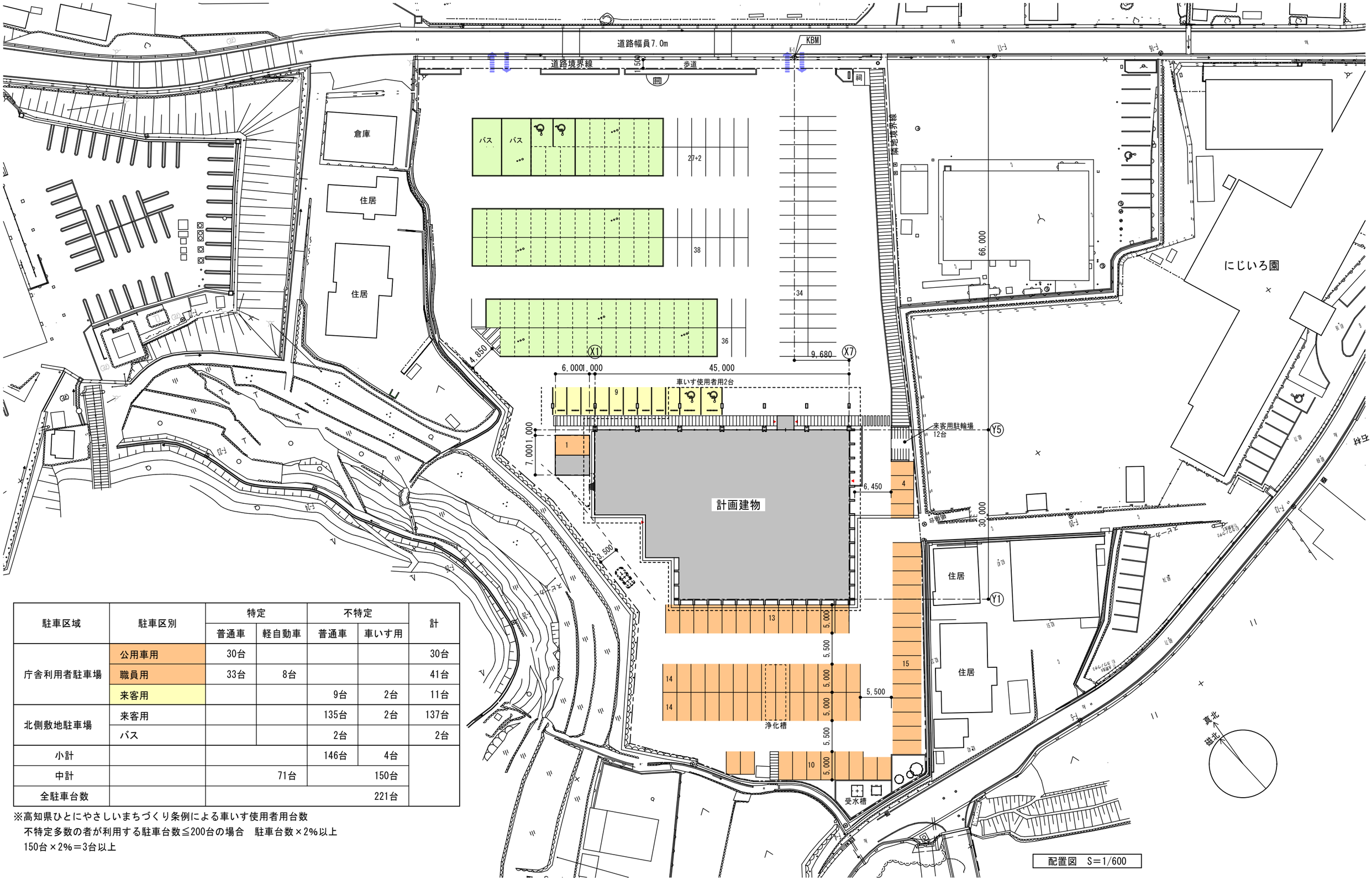
鳥瞰

玄関

ほしふるホール

階段・EV

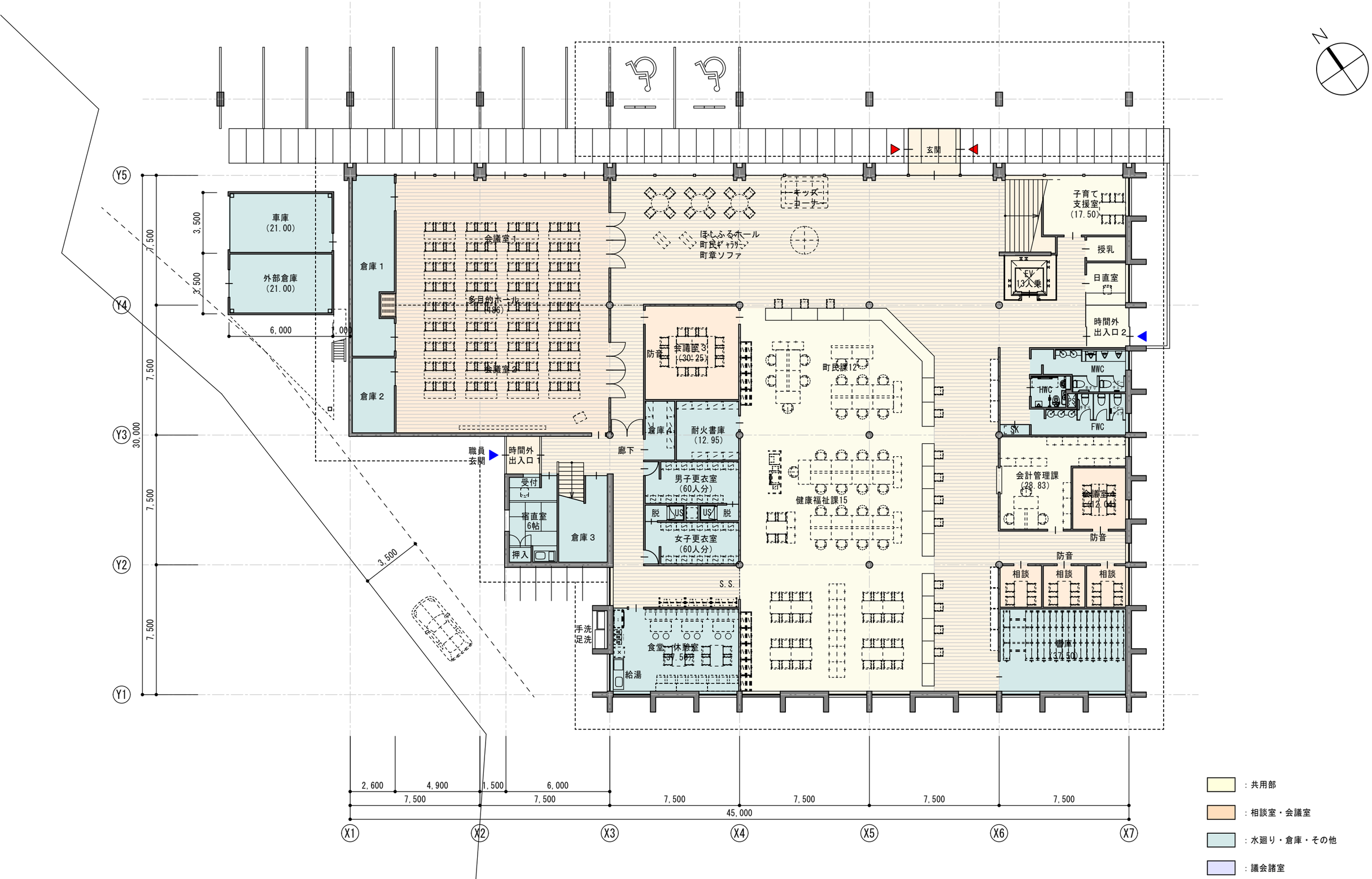
２階執務室

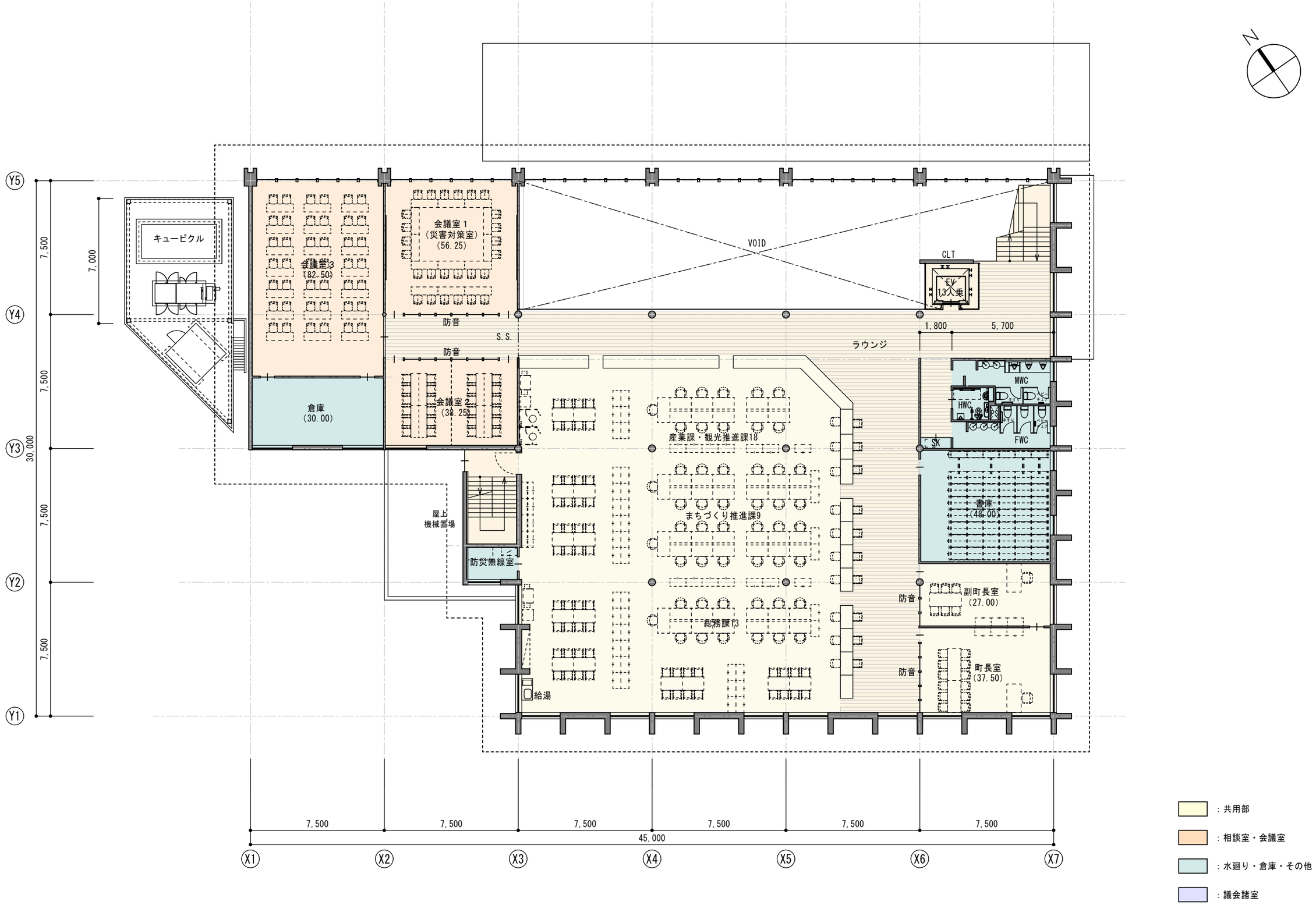


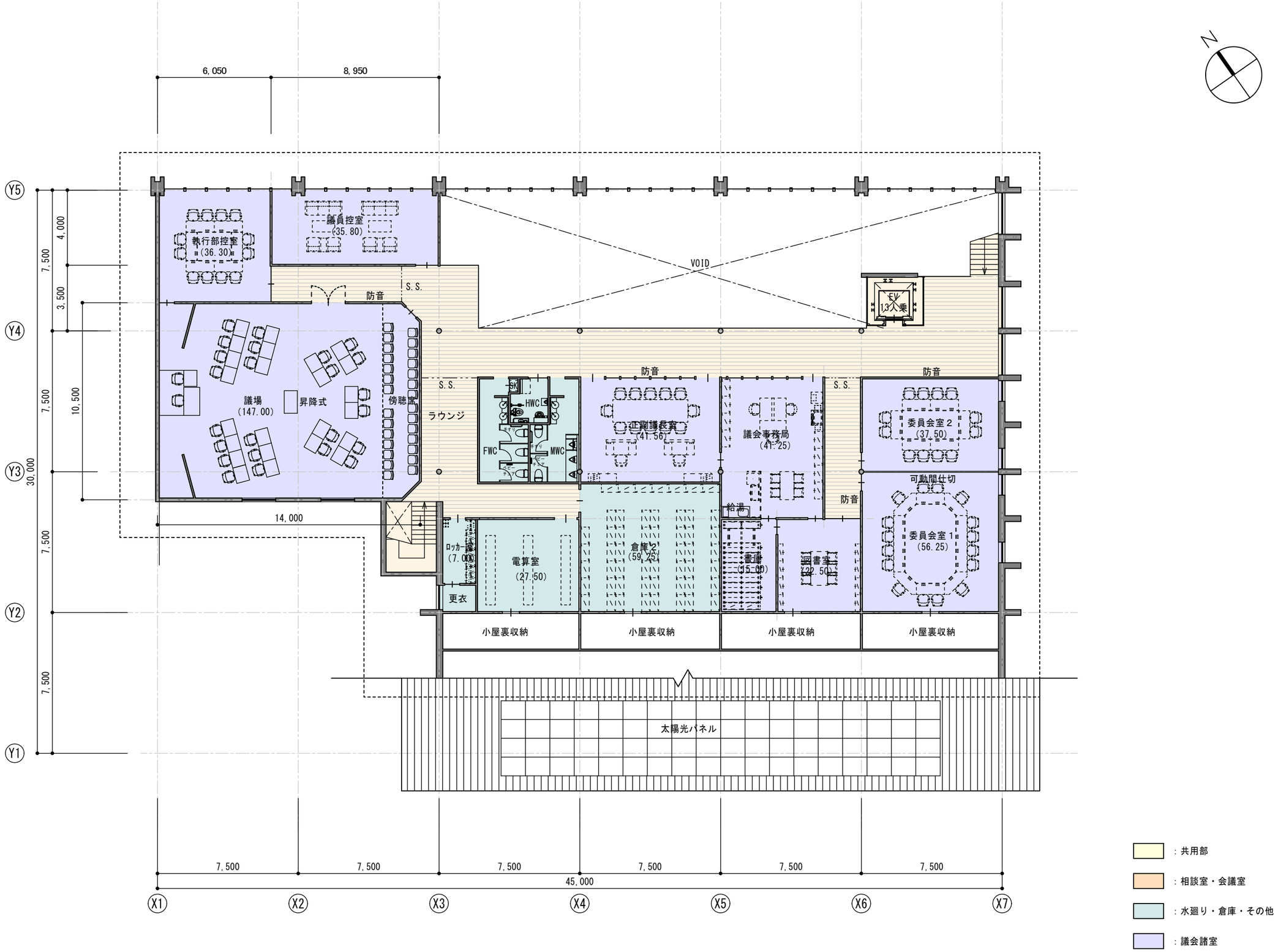
配置図　S＝1/600

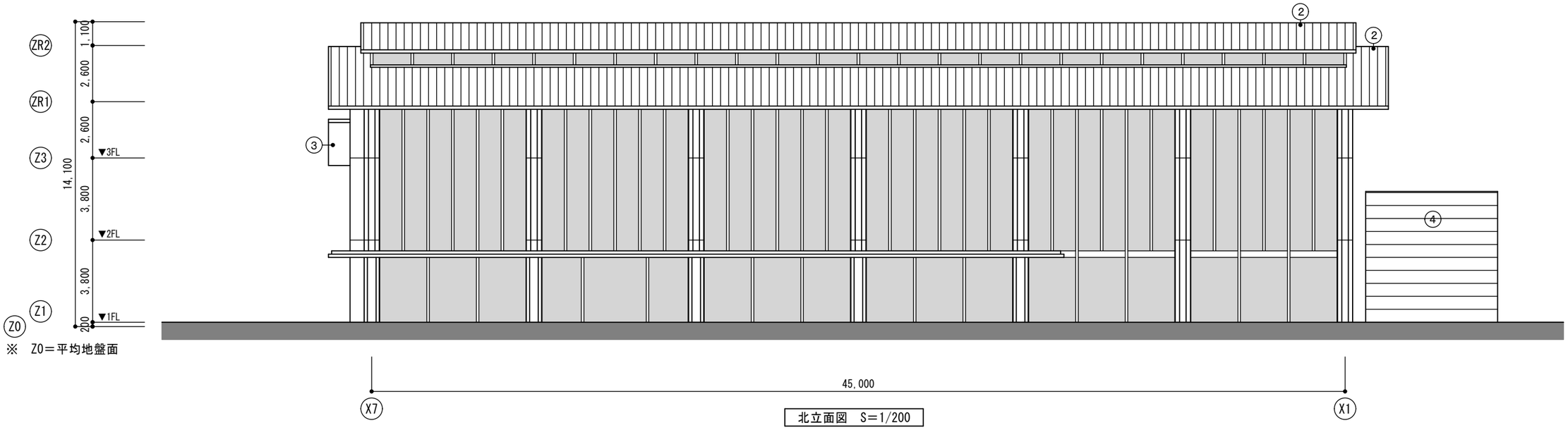
駐車区域	駐車区別	特定		不特定		計
		普通車	軽自動車	普通車	車いす用	
庁舎利用者駐車場	公用車用	30台				30台
	職員用	33台	8台			41台
	来客用			9台	2台	11台
北側敷地駐車場	来客用			135台	2台	137台
	バス			2台		2台
小計				146台	4台	
中計		71台		150台		
全駐車台数		221台				

※高知県ひとにやさしいまちづくり条例による車いす使用者用台数
不特定多数の者が利用する駐車台数≦200台の場合　駐車台数×2%以上
150台×2%＝3台以上

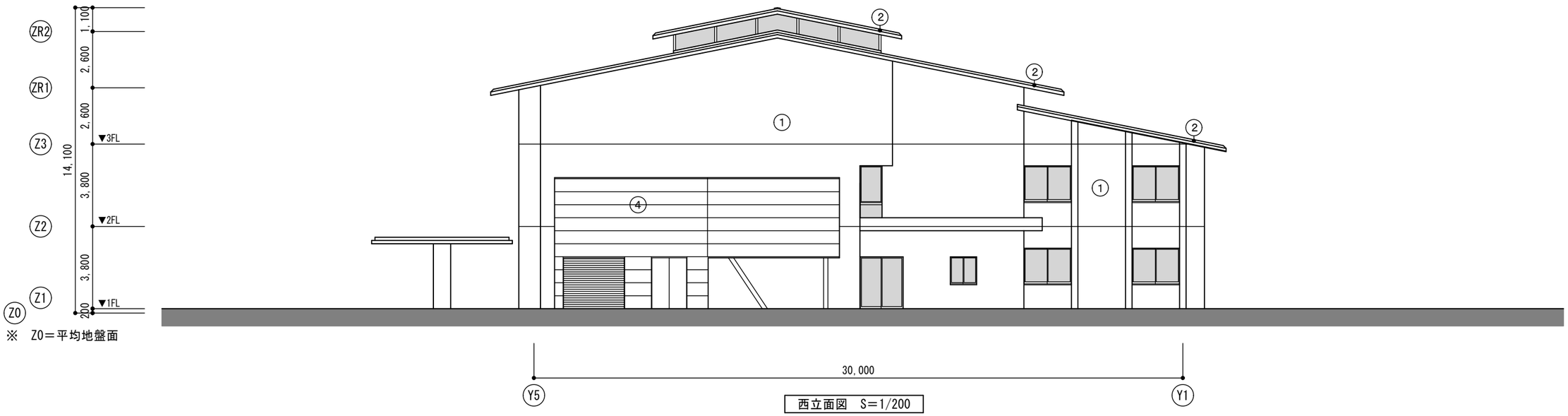

N
玄関
キッズコーナー
ほしふるホール
町民ギャラリー
町章ソファ
子育て支援室
(17.50)
授乳
日直室
EV
13人乗
時間外出入口2
車庫
(21.00)
外部倉庫
(21.00)
倉庫1
倉庫2
会議室1
多目的ホール
(196)
会議室2
防音
会議室3
(30.25)
町民課12
MWC
HWC
FWC
SK
倉庫4
耐火書庫
(12.95)
廊下
職員玄関
時間外出入口1
受付
宿直室
6帖
押入
倉庫3
男子更衣室
(60人分)
女子更衣室
(60人分)
脱
US
健康福祉課15
会計管理課
(28.83)
会議室4
(12.06)
防音
相談
相談
相談
S.S.
手洗
足洗
食堂・休憩室
(37.50)
給湯
書庫
(37.50)
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
3,500
3,500
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
30,000
6,000
1,000
3,500
2,600
4,900
1,500
6,000
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
45,000
：共用部
：相談室・会議室
：水廻り・倉庫・その他
：議会諸室


N
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
7,500
7,000
7,500
30,000
7,500
7,500
キュービクル
会議室3
(82.50)
会議室1
(災害対策室)
(56.25)
防音
S.S.
防音
倉庫
(30.00)
会議室2
(38.25)
VOID
CLT
EV
13人乗
1,800
5,700
ラウンジ
MWC
HWC
FWC
SK
産業課・観光推進課18
まちづくり推進課9
書庫
(48.00)
屋上
機械置場
防災無線室
副町長室
(27.00)
防音
総務課13
防音
町長室
(37.50)
給湯
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
45,000
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
：共用部
：相談室・会議室
：水廻り・倉庫・その他
：議会諸室


6,050
8,950
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
7,500
4,000
3,500
7,500
10,500
30,000
7,500
7,500
14,000
執行部控室
(36.30)
議員控室
(35.80)
防音
S.S.
VOID
EV
13人乗
議場
(147.00)
昇降式
傍聴席
ラウンジ
S.S.
HWC
FWC
MWC
防音
正副議長室
(41.56)
議会事務局
(41.25)
S.S.
防音
委員会室２
(37.50)
可動間仕切
防音
給湯
委員会室１
(56.25)
ロッカー
(7.00)
電算室
(27.50)
倉庫２
(59.25)
書庫
(15.00)
図書室
(22.50)
更衣
小屋裏収納
小屋裏収納
小屋裏収納
小屋裏収納
太陽光パネル
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
7,500
45,000
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
N
：共用部
：相談室・会議室
：水廻り・倉庫・その他
：議会諸室

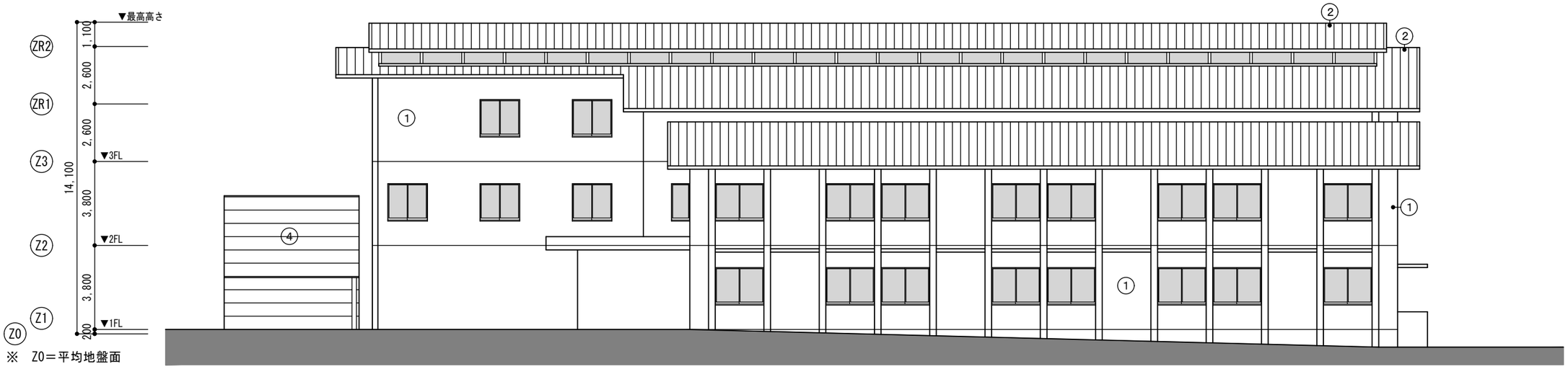


北立面図　S＝1/200

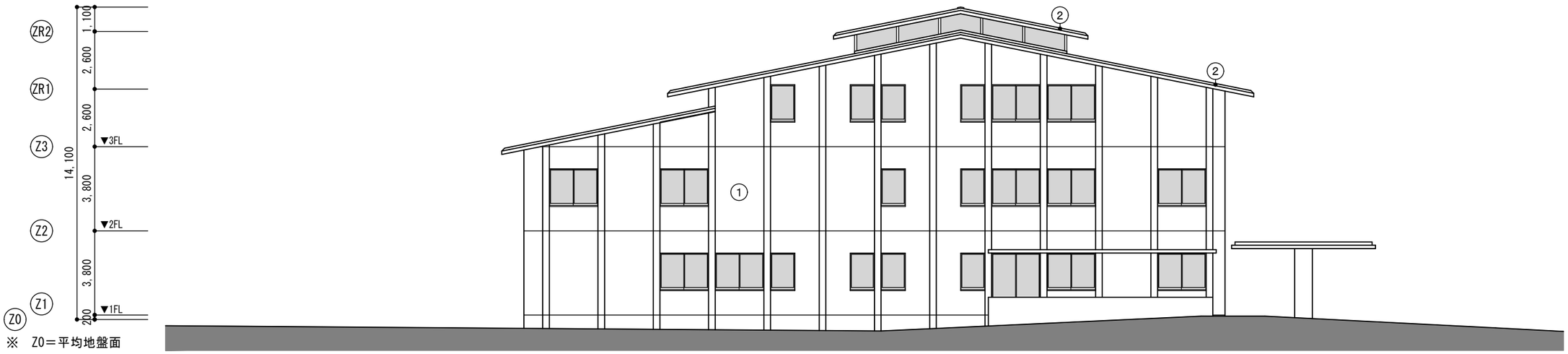


西立面図　S＝1/200

①	コンクリート打放し　撥水剤塗布
②	ＵＧＬ鋼板　t=0.4　タテハゼ葺き
③	ＣＬＴ見出し　ＷＰ
④	押出成形セメント板



南立面図　S＝1/200



東立面図　S＝1/200

①	コンクリート打放し　撥水剤塗布
②	ＵＧＬ鋼板　t=0.4　タテハゼ葺き
③	ＣＬＴ見出し　ＷＰ
④	押出成形セメント板